

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぽけっと鳩ヶ谷教室

公表日 2025年 3月 20日

利用児童 36名中 回収数 33名 割合92%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 十分なスペースがどの程度かわからない 中を見て確認している 個別の部屋も清潔感あり的確なスペースがあると感じています 特に問題なく活動できているようなので 子ども一人ずつに個室があり集中して取り組める環境だと思いました 活動内容によって、場所を変えて過ごしていただき、集中して取り組めていると感じています 限られたスペースでも工夫して体を動かせる遊具をたくさん用意してくれていると思います 集団活動時と1人の時は個室と部屋が分かれているので、集中できる環境だと思う 全員で活動する場、個々で活動する場がちゃんと設けられている 現在の人数であれば十分と思う 	引き続き、ごどもの活動スペースの安全を第一に、目つ発達状況に合わせたスペース作りを都度行なっています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 1対1でついていてほしいため 子供から目をはなしていない 思ったよりも職員の方の人数が多く、手厚い。安心して預けられています 一対一の関わりや小集団では、職員の目がたくさんあり感謝しております。 人数によって曜日の変更があるので、配置数はしっかりと管理してくれていると思います。 1対1で支援してもらえらるから。 フィードバックの時間に、子どもをきちんと見てくれるスタッフがいる。 各1人につきしっかり職員の方につきっきりその子を見てくれていてフィードバックも的確です。 	ごどもの気が散らない様、個別支援でホールを使用する際にはパーテーションで仕切る等の配慮しています。広すぎず、狭すぎずの広さで個々の活動に集中できる法令に遵守にした適切なスペースを確保した設計にしています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 活動しやすい ホワイトボード使用し担当者や個室の部屋が分かりやすく写真やイラストもあり子供にも優しいと感じました お部屋に動物の名前がついていたり、子どもが手の届くところに玩具なども配置されています 利用する子どもたちが日によって変わるにも関わらず名前の掲示やお部屋にもマークがあるなど過ごしやすい環境だと感じています 細かい配置を見ていないので分かりません 各部屋が動物の絵(マーク)で分かれています 自分の荷物置き場や靴置き場、タオルかけ等に名前があり見てわかりやすい 靴を脱ぐ場所などわかりやすく示されていると感じています 	教室内の段差はほぼなくバリアフリーにすることで安全面に考慮している。また、お子様への視覚的な配慮をしつつ、ご家庭で生活場面への脱化をイメージして環境設定をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、ごども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎日清潔にお掃除されている印象です 衛生的 いつも清潔にされていると感じています 通い始めてから特に病気をしたりもないので清潔なのだと思いました 清潔に保たれていると思います なっていると思う。 いつもきれいに整理整頓されている 	引き続き毎日の玩具、道具の消毒・洗浄の徹底、お子様の発達状況に合わせて道具の設置方法などに配慮していきます。
適切な支援の提供	5	ごどものことを十分に理解し、ごどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 子供が変わってきている 毎回分かりやすくフィードバックしていただいています まだ利用してから日が経っていないので(どちらともいえない) 親目線では見落としてしまします細かいことにも気づいて伝えてくださり私自身も励みになりました こちらの相談にもすぐ対応してくれて助かっていることがあります 先生により専門性には少し差があるように感じることはあります 	専門性の個人差を無くすよう、本部からセラピー段位取得制度による審査があります。また、同様にテーマごとの研修が日々設けられておりスキルアップ体制が整っています。教室内でも適宜研修の機会を設けており、お子様の事例を共有、議論するケース会議の場を設け、カンファレンスでは全職員の意見を出し合うことで共通認識を高めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 情報の開示ができています 書面を取り組みや進め方も提示していただいています なっていると思う。 	事業所で共通の支援動画を視聴していただき、実際のお子様の課題プログラムと照らし合わせてご説明する機会を設けています。尚、支援プログラムは「てらびあぽけっとホームページ」に公表されています。 https://terapiapocket.com/flow/support-program.html
	7	ごどものことを十分に理解し、ごどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	32	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 面談で確認できている 入所して少しの間でもごどもの特徴など捉えられていてさすがだなと思いました ペアトシや面談を通じて、子どもの課題や困りごとにも親身に対応していただいております そう思う 子どもの何にフォーカスを当てていったらいいのか、こちらの悩みや要望もきちんと組み込まれて計画して下さった 支援計画交付の際に十分御説明頂いていると感じます 	アセスメントやカンファレンスの場で全職員からの意見をもらい、長期目標、短期目標を設定し、誰が見てもわかりやすい計画を意識して作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からごどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> いろいろ相談に乗ってくれる そう思う 	児童発達支援ガイドラインを目にするには少ないと思いますが、アセスメントやカンファレンスの場で全職員からの意見をもらい、長期目標、短期目標を設定し、誰が見てもわかりやすい計画設定を意識しています。分かりにくい点があればお問合せください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期面談で確認 面談してもらい必要な支援が計画されていると感じています まだ利用してから日が浅いですが、本人に変化があったので お口のリハビリをやってもらえるから、感謝しています 	引き続き職員全体でお子様の支援状況や課題の共通認識を迅速に共有出来る環境を作っていく。職員一人一人が計画内容を理解し、それぞれが根拠をもって支援に取り組んでいます。

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動とれるよう多人数や年齢も考慮していると思います ・子どもが飽きることなく毎回楽しんでいます ・色々な角度からアプローチしていただき、その時やなくても方法を覚えて関わってくださってありがとうございます。また子どもが興味を示すような教材を使ったやっつけてくださっているようで楽しく参加できていると聞いております。 ・お迎えの時なぜその遊びを取り入れているのかの説明を毎回フィードバックしてくれていると思います ・製作があり、子供が嬉しそうに見せてくれるから。 ・以前は同じような内容が続いているような時もありましたが、色々状況により変えていただいていると思います。 	<p>子どもの発達段階やプログラムのアイデア等、職員間で日々意見交換を行なうなかで変化を入れております。</p> <p>お子様たちの活動に鮮度を持たせられるよう、物的環境も整えていきます。</p>
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	3	12	6	<ul style="list-style-type: none"> ・療育での機会は少ないが、子は保育園に通っているので不要だと考えている ・いとこに会う位。 	今後、ご要望があれば検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な説明がありました。 ・入所時に丁寧に説明して頂きました。 ・代表の方からしっかりと説明がありました ・説明して頂きました。 ・登録の際に運営についての規定を読んでくれたり、詳しく説明があった。 	契約時に決められた時間の中でご説明、ご理解のご確認をしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談があった ・説明していただきました ・丁寧に説明してくれています 	保護者様と職員で相互理解を確認しながらご説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にゆっくり時間をとって相談できるので良いです ・定期的実施 ・毎月ペアトし組んで貰い色々相談や聞わりかた、課題など話し合いが出来て助かっています。 ・毎回こどもとの関わり方を学ばせていただいています ・ペアトは勉強になります ・子育てで悩むことも多く、子供への関わり方を教えてくれるので、感謝しています。 ・ペアトで子どもが日々どう過ごしているのか話が聞けたり、家での様子や悩みが相談できる場がありました。ただ、担当して下さるセラピストの方によっては少しモヤモヤが残る部分があることもあった。 ・本年度より定期的にペアレントトレーニングがあり、お話やご質問する機会が設けられています。 	<p>本年度より定期的に(月1回~4回)保護者様とお話しさせていただく機会を設けています。</p> <p>セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭のご様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。</p> <p>定期的に行なっていない保護者様への実施させて頂き、ご相談に対して寄り添う姿勢を持ち、不明点や不安がないかの確認をしていく事を徹底していきます。</p>
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	31	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・療育中に体調変化があれば、お迎えの際、伝えて頂いています。発熱時すぐに連絡頂きました。 ・なんでも報告、相談しやすい環境です ・ラインでも子供の状況を伝えることができ、助かっています。 ・毎回「お変わりないですか?」と聞いてくださり、風邪気味のときなどは伝えることができました。 ・概ねできていると思いますが、少し先生により偏りがあるように感じることもあります。 	日々のセラピーノートに保護者様より記入頂いているお子様の様子を職員全体へ共有、特定事項があれば様子を観察し、ノートに記入しています。また、保護者様や職員と共通理解が持てるよう取り組んでいます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・色々話していただき本当に感謝しています ・子供への助言を頂けるので、助かっています ・面談時に子供の心配な行動等について毎回相談させてもらっています。話を聞いてくれるだけでも親の心配が軽くなり助かっています。 	<p>本年度より定期的に(月1回~4回)保護者様とお話しさせていただく機会を設けています。</p> <p>セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭のご様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。</p>
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・話しやすい環境だったりお人柄でとても助けられています ・子供の好きなものを理解してくださり、ゆっくりと成長を見守ってくださり感謝しています。 ・思います。 ・どのスタッフの方もよく見てくださり、温かい言葉をかけていただけました。 	引き続き、お子様、ご家族様のお気持ちに寄り添い、包括的な支援を行っていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	5	12	9	<ul style="list-style-type: none"> ・そう思います。 ・子供たちの支援状況も違うので、特に保護者会等は特に必要ないと思います 	ご要望があれば検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・入所する際のご連絡もすぐにいただけました ・子供への関わり方を教えて頂き、感謝しています 	<p>本年度より定期的に(月1回~4回)保護者様とお話しさせていただく機会を設けています。</p> <p>セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭のご様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。</p>
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ラインで子供の様子を情報共有できるから。 	フィードバックの際等、保護者様からのご意見やお話が伺えるよう、ちょっとしたこどももお話ししやすい環境設定をしています。引き続き公式LINEアカウントでもご連絡ください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し情報公開しても良いかなと思う ・発信して頂いています。 	教室便り、SNS、ブログ等の情報公開の頻度を上げていき、周知していきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・していると思う。 ・時々来所した際に他の方の連絡帳などが目につく場所に置かれたりしていることがあります。 	連絡帳の所在に関して、ご指摘を真摯に受け止め、個々の取納場所を決めることで早急に改善を行ないました。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・していると思う。 ・その旨の説明も受けました 	<p>契約時にご説明をしています。</p> <p>訓練の実施、保護者様への周知の機会を増やしていきます。</p> <p>尚、各種マニュアルに関しては送迎時にご覧になれるよう入り口に配置しておりますので、ご自由にご覧ください。</p>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	0	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を実施している ・その旨の説明も受けました ・していると思う。 	<p>契約時にご説明をしています。</p> <p>訓練の実施、保護者様への周知の機会を増やしていきます。</p>
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・していると思う。 ・契約の時に御説明があったと思います。 	契約時にご説明しています。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう事態になっていないのでわかりかねます ・説明して頂いた。 	契約時にご説明しています。
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は泣いて嫌がった子が今では楽しそうに通っています ・そう思っています。 	お子様のその日その日の状況を見ながら対応し、保護者様にも共有しています。
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	29	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・家でも先生やお友達の名前を言って楽しみにしています・休みの日でも、行きたいと言っています。 ・作ってきた製作を見せてくれるので。 ・毎回楽しそうに通っていた。 ・毎週「早く行きたい！」ととても楽しみにしています。 	セラピストとの時間だけでなく、お友達との時間も楽しみの一つとなるような会場の環境設定も引き続きおこなってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・通い始めてから、親の気持ち的にも救われることが多く感謝しています ・子供の特性や発達状況に応じて、工夫しながら対応いただいていると日々感じております。また、親への適宜適切なアドバイスも頂けており、参考にさせていただくことも多く、感謝しております。 ・引き続きよろしく願っています。 ・いつもありがとうございます。色々な相談にも対応していただき、自宅での関わりを考えるきっかけになっています。何より子どもが言葉の面、行動面など大きく成長していることに感謝です。 ・助言に感謝しています。 ・的確なアドバイスをいただくことができ、とても助かっています。 	ありがとうございます。 お言葉を励みに今後もお子様、ご家族様に寄り添う支援を心掛けながら、支援内容も充実させていけるよう、精進してまいります。

事業所における自己評価結果

公表		事業所における自己評価結果				
事業所名		てらびあぽけっと鳩ヶ谷教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	児童の気が散らない様、個別支援で大部屋を使用する際にはバーションで仕切る等配慮している。広すぎず、狭すぎずの広さで個々の活動に集中できる法令に遵守にした適切なスペースを確保した設計にしている。	個別支援での環境設定の際、お子様で集中して取り組めるように物的環境を整えていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	ソーシャルセラピー(複数の児童で個別プログラムを行い社会性強化に向けた支援)を取り入れながら職員の適切な配置を組んでいる。	職員の当日欠員等のイレギュラー時には当日の相互確認を十分に行い事故につながらないようにし、プログラム内容も配慮して行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	教室内の段差はほぼなくバリアフリー、安全面に考慮している。お子様への視覚的配慮、生活場面で般化をイメージして環境設定をしている。	トイレの段差についてはお子様の発達状況により適宜対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日の玩具、遊具の消毒・洗浄の徹底、お子様の発達状況に合わせて遊具の設置方法など配慮している。	お子様たちの活動に鮮度を持たせられるよう、物的環境を整えていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	個別支援を主としている為個室の利用は小集団活動、個別活動の時間問わずに使用できる。お子様の感情コントロールを整える場としての使用も適宜行っている。	イレギュラー対応としての個室の利用場面を職員間で共通認識を持っていく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	朝礼時の共有、書類の確認、職員ミーティング、研修、定期的な管理者との1on1面談を行い共通認識を持つ場の環境をつくっている。	職員間で主体的に意見交換する環境を整えていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年評価アンケートを実施し、ご回答頂いたご意見の基づき改善策を職員間で話し合い実行している。	日頃より保護者様との関係構築に努め、保護者様のご要望、ご意見を伺いやすい環境を整えていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	定期的な管理者との1on1面談を行い共通課題が上がった際には、改善に向けた話し合いの場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	外部による第三者評価は行ってないが、てらびあぽけっと本部からの定期的な訪問や、セラピー段位取得制度による本部SVからの審査をもらう機会を設けている。	第三者評価者の設置の検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	セラピー段位取得制度による本部SVからの審査をもらう機会を設けている。本部でテーマごとの研修が日々設けられておりスキルアップ体制が整っている。教室内でも適宜研修の機会を設けている。	全職員が自主的に自己研鑽に励み共有し合える環境を整える。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	令和7年2月10日てらびあぽけっとホームページに公表、指定権者へ申請済み。 https://terapiapocket.com/flow/support-	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	計画期間ごとにアセスメントをした上で計画書を作成している。また、統一されたアセスメントシートを使用している。	職員全体でお子様と保護者様のニーズや課題の共通認識を迅速に共有出来る環境を作っていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	お子様の事例を共有、議論するケース会議の場を設けている。カンファレンスでは全職員の意見を出し合う事としている。	職員全体でお子様の支援状況や課題の共通認識を迅速に共有出来る環境を作っていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	職員が支援の際に必ず目に触れる所に計画書を配置し、契約書更新の際は必ず全職員の署名サインを行っている。	職員一人一人が計画内容を理解し、それぞれが根拠をもって支援に取り組んでいく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	統一されたアセスメントシートを使用し、日々のお子様については職員間で共有出来る様に個人データへ記録を残している。	職員全体でお子様の支援状況や課題の共通認識を迅速に共有出来る環境を作っていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	アセスメントやカンファレンスの場で全職員からの意見をもらい、長期目標、短期目標を設定し、誰が見てもわかりやすい計画設定をしている。	全職員が共通認識のもと支援プログラムの実践にあたっていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	こどもの発達段階やプログラムのアイデア等、職員間で日々意見交換を行っている。	職員の共通理解、認識の機会を作りスキルアップを図っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	こどもの発達段階やプログラムのアイデア等、職員間で日々意見交換を行っている。	職員の共通理解、認識の機会を作りスキルアップを図っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	それぞれのお子様の生活環境を加味しながら、般化していくイメージを持って計画、支援の実施をしている。	全職員が共通認識のもと支援プログラムの実践にあたっていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼等で申し送りを実施、確認をし、その日出動していない職員は業務日報を確認して全職員に共有している。	効率よく共通認識が持てるように日頃から職員同士のコミュニケーションを密にとっていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	支援終了後に申し送りを実施し、その場にいらない職員は業務日報を確認して全職員に共有している。	効率よく共通認識が持てるように日頃から職員同士のコミュニケーションを密にとっていく。

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	個別のデータファイルを作成し毎回データ記入を行っている。	誰が見てもわかりやすい記入を職員全体で共有している。 データ内容を総合的に見れるように職員のスキルを上
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	必要に応じて判断をして適切に見直しをしている。2ヶ月～6ヶ月毎に必ず行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	職員全体で子どもの状況把握に務めており、情報共有を取っている。会議には管理者が代表して参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	各関係機関と子どもについての共有の機会を積極的にとっている。	まだ連携が不十分な機関について、これから計画を立てていく必要がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	積極的に行っている。併行利用先の事業所とも意見交換や相互に訪問を推進した実績もある。ご要望に応じて園と連携を取り、直接訪問をし、情報共有を行っている。	まだ連携が不十分な機関について、これから計画を立てていく必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4	保護者様を介して情報共有の機会を設けている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1	訪問、見学の場を設けて意見交換等の機会をつくっている。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		ご要望があれば機会を作っていく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	ご利用の都度フィードバックの時間を設け、情報共有を行い、家族支援へ繋げている。	保護者様のご意見、ご要望に耳を傾けるフィードバックを心掛ける。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	本年度より定期的に(月1回～4回)保護者様とお話しさせていただく機会を設けています。セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭での様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。	ペアトレがコンスタントに行っていないご家族様もいるのでスケジュールの見直しも必要。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時にご説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	面談、モニタリング等を等で意向を確認する機会を設けており、多面的、多角的な観点から計画書を作成している。	フィードバックやペアトレの場でご家族様の考えや思いを引き出しやすい環境を更に変えていく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	2	保護者様と職員で相互理解を確認しながらご説明していきます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	本年度より定期的に(月1回～4回)保護者様とお話しさせていただく機会を設けています。セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭での様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7		ご要望があれば機会を作っていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	本年度より定期的に(月1回～4回)保護者様とお話しさせていただく機会を設けています。セラピーノートにご相談いただいたお悩み事や、ご家庭での様子、セラピーについてのご説明など、多岐にわたるお話をさせていただいております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	教室便り、SNS、ブログ等の情報公開をしている。	教室便り、SNS、ブログ等の情報公開の頻度を上げていき、周知していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	情報の整理を行い、鍵のかかる収納棚での管理をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	児童に対しては、視覚化することで意思疎通や情報伝達のための環境作りを行っている。保護者に対しては、営業時間外であっても、SNSの導入によって、外国人の保護者も含めてコミュニケーションが取りやすいように配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		機会を設けていくことを検討していく。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種対応マニュアルの所在場所等保護者様が目につきやすい場所へ張り紙のご案内をしている。 防災訓練は月毎に工夫し行なっている(紙芝居から実践へ)定期的に訓練を実施し、適宜マニュアル等見直しを行なっている	訓練実施の公表等保護者様への周知の機会を増やしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCPを策定し、実施している。	訓練実施の公表等保護者様への周知の機会を増やしていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	ご契約時に必ず服用しているお薬や医療機関等のヒアリングを行っており書面（フェースシート・アセスメントツール）で記録を残してある。 子供の状況に応じて研修の実施もしている。	児童の服薬やアレルギーなど、6か月毎の面談時に前回のフェースシートの情報を印刷して、変更点があれば訂正を入れて頂くことで漏れを防ぐ。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	契約時のお聴き取りの際にヒアリングを行い食品を扱う際には保護者への確認、了承を得ている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を策定し、保護者へ目につきやすい場所へ掲示している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	契約時に安全確保についてのご説明を具体的にお伝えしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	毎日ヒヤリハット発生の有無について確認を取り、発生状況を記入、3ヶ月毎に集計を取り、改善に向けた話し合いを実施している。	活動中、ヒヤリを意識した動き、また発生時の対応、職員全体の共通認識、理解の底上げを目指す。児童、職員の動きは様々なので、ヒヤリハット事例の解決策に関しては、個々の対策を引き出していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	入社してすぐに動画を視聴し、研修報告書を記入。年に1回研修の機会を設け、職員間での共通認識を持てるよう実施している。 児童や保護者様のご様子や言動に気をつけて観察し、必要に応じて身体にも目を配るようにしている。	職員間での気になる事等1on1でのヒアリングを行い、認識力の底上げを行っていく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	保護者へは契約時に虐待についての内容と同時にお伝えしている。 年に1回研修の機会を設け、職員間での共通認識を持てるよう実施している。身体拘束が必要にならないよう環境設定に気をつけると共に対応策を用意している。	職員間での気になる事等1on1でのヒアリングを行い、認識力の底上げを行っていく。	

事業所における自己評価総括表

公表	2025年 3月 20日		
○事業所名	てらびあぼけつと鳩ヶ谷教室		
○保護者評価実施期間	令和7年1月23日 ~ 令和7年2月3日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 33名
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日 ~ 令和7年1月17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援(ペアレントトレーニング)で保護者様の困り事に対してのアドバイスと一緒に悩みながらご家族との協力体制をつくり上げていけていること。	どんな小さなことでも拾い上げられるよう、セラピーノート(連絡帳)を活用し、なるべくご記入頂ける様にお声がけをしている。気さくにお話できる雰囲気づくりを心掛けている。	職員全体でご家族のフォローアップが出来る様に、意識の底上げをしていく。
2	職員達で意見(アイデア)を出し合い、ABA療育に基づいた独自のプログラムを実施している。 * 感覚統合プログラム * 身辺自立プログラム etc....	発達のパースになることに着目し、お子様の困り事との関連性を保護者様へお伝えする事で興味関心を持っていただきご理解ご納得いただいている。 また、専門的知識の習得の為、外部研修へ参加している。	職員全体での知識、スキルアップを図れるように研修や共有の機会を設けていき、アイデアや発想を吸い上げていく。
3	幼稚園・保育園など関係機関との連携を積極的に行っている。	保護者様からの園での様子をお伺いし、園訪問のご希望を伺い実施している。報告書の作成(職員全体周知含め)をし、ペアトレと合わせて保護者様へお子様の様子や園側との共有事項等をご説明、今後についての方針もお伝えしている。	訪問に出向ける人材の育成
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への防災訓練等の周知が行き届いていない。	SNS等を使用していることを伝えてはいるが、フィードバックの確認までできていない。 SNSを利用していない家庭もあるため、周知	教室便り、SNS、ブログ等の情報公開の頻度を上げていき、周知していきます。
2	専用駐車場がない。	駅から離れていることもあり、お車での通所が多く、ご要望をいただく。	保護者様へ安全面での周知をすると共に、ご理解に感謝をお伝えする姿勢を持って対応していく。
3	職員の専門的な支援のスキルのバラつきがある。	内部、外部の研修やロープレ研修の機会が積極的に行なえていない。	人材育成のための時間確保。